

～四季折々の溪谷に神楽舞う里～

住んでよし、
訪ねてよしの
谷づくり

谷自治振興会

(島根県飯石郡飯南町)

島根県飯石郡飯南町谷地区

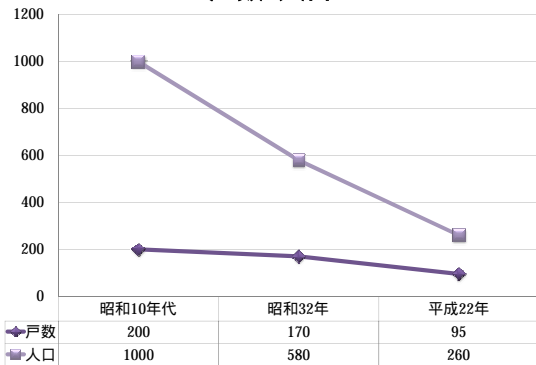


歴史

江戸時代	石見銀山直轄領 (天領)
明治7年	石見の国 浜田県
明治9年	島根県邑智郡 畑田村・井戸谷村・塩谷村
明治22年	島根県邑智郡 谷村
昭和28年	島根県飯石郡 赤名町
昭和32年	島根県飯石郡 赤来町
平成17年	島根県飯石郡 飯南町



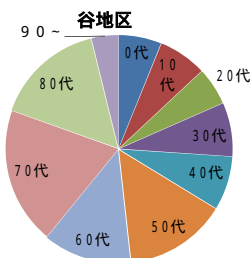
戸数・人口



谷地区人口構成

年代	男	女	合計
0代	10	6	16
10代	9	9	18
20代	10	4	14
30代	10	10	20
40代	7	13	20
50代	18	20	38
60代	15	18	33
70代	20	31	51
80代	14	27	41
90～	4	6	10
合計	117	144	261

(全体約95世帯)
独居世帯数 21世帯
高齢化率 47%



谷自治振興会

過疎対策委員会 (昭和40年代後半急激な過疎の始まり)

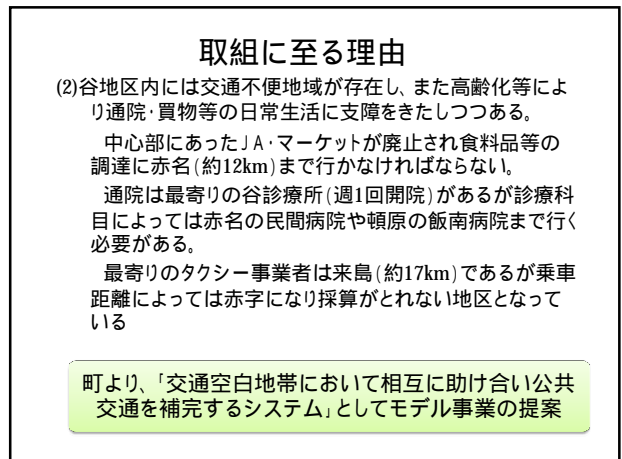
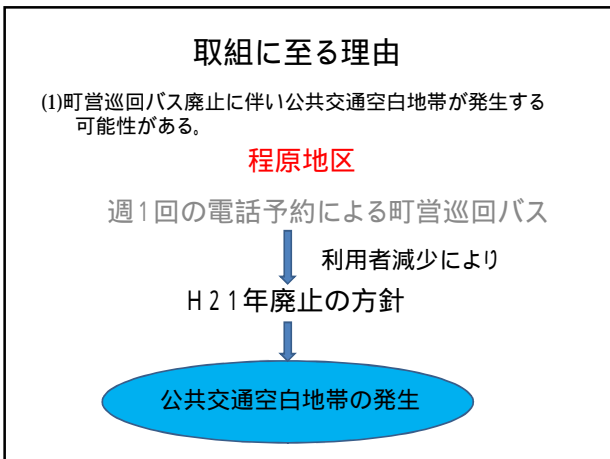
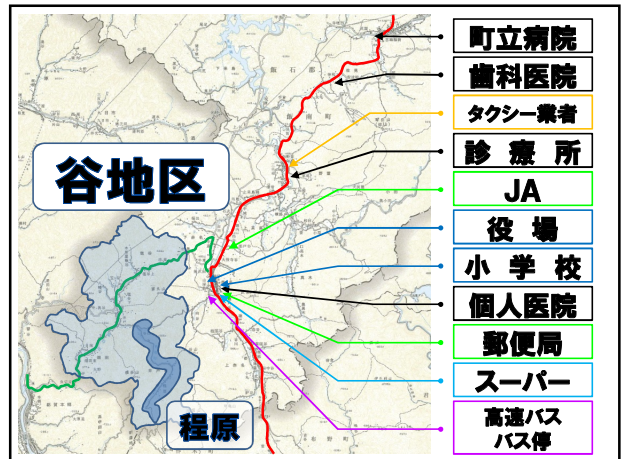
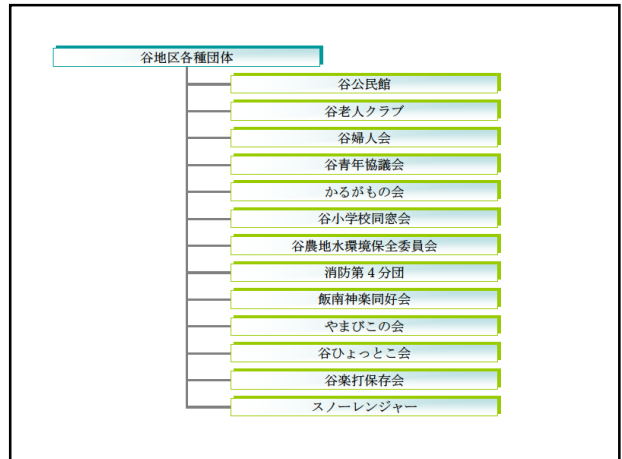
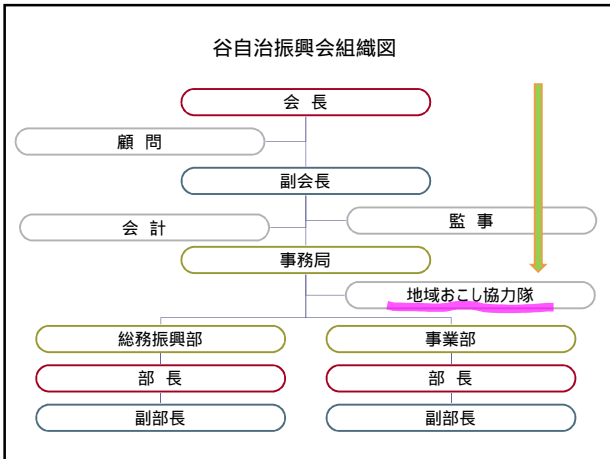
テレビ共聴組合の設立
(全戸出夫、負担)

谷振興会 (昭和56年 谷地区内全戸加入で発足)

県道55号線の整備促進

谷自治振興会 (平成16年6月移行設立)

{相互の連帯と親睦を図り、明るく住みよい地域基盤の形成を目指す}

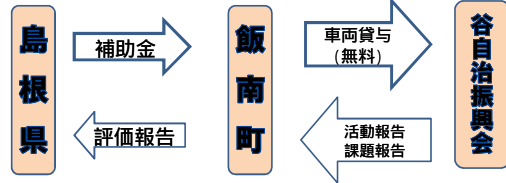


運送の仕組み (道路運送法)

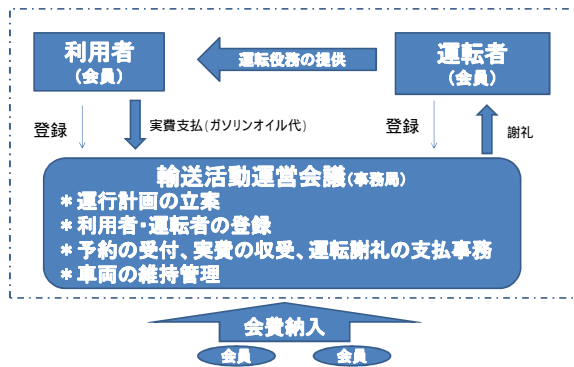
区分	種類	備考
有償運送 (緑ナンバー)	旅客運送事業	バス・タクシー等
	自家用有償運送	市町村運営有償運送 過疎地有償運送 福祉有償運送
無償運送 (白ナンバー)	スクールバス	
	病院、商店の無料バス	
	自治会等輸送活動 (島根県モデル事業)	利用者負担は燃料費 以内としその他の経費 は自治会費の中から負 担する事で無償輸送扱 いとする

自治会等輸送活動支援モデル事業概要

- 運行主体**
- 自治会・ボランティア団体等
- 対象地域**
- 交通空白・不便地域であること
 - 自治会等による主体的な取組が期待される地域
- 留意事項**
- 活動費用は会費によること、利用者は燃料代のみ別途負担(車両運送法上は無償輸送扱)
 - 市町村が地域の調整を行うことが必要



谷自治振興会活動の一環として行う輸送活動



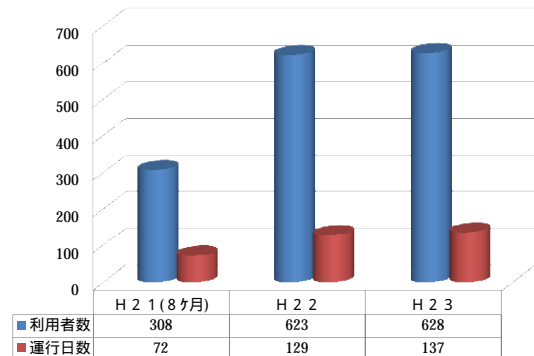
運行形態

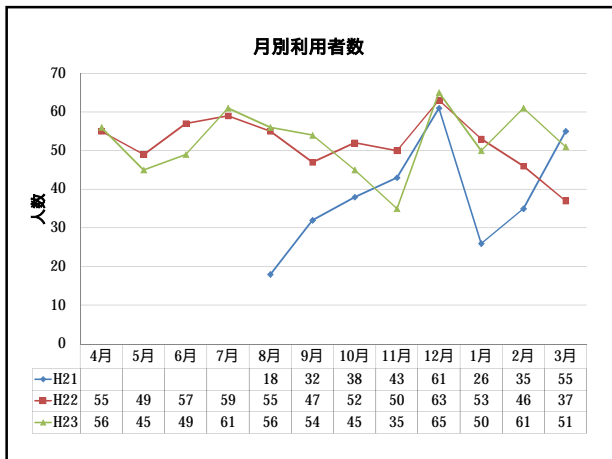
- 利用者: 谷自治振興会の会員(谷地区住民)
- 運行区域: 谷地区内もしくは高速バスバス停まで
- 運転者: 谷自治振興会会員の有志
- 運行の予約: 3日前までに公民館へ
- 運行日: 通常は平日9:00から18:00まで
- 利用料: 1回(片道)につき200円分の会員券

運送車両「せせらぎ号」



利用者数及び運行日数





スノーレンジャー結成

- ★ 会員17名(50～70代)。
- ★ 資金を出し合い、「いきいきファンド助成」を合わせ除雪機2台を購入。

除雪作業

雪かき引受けます

{ スノーレンジャー参上 }

木戸道・庭・屋根の落雪など除雪機作業
(屋根の雪下ろしはできません)

料金1時間以内 1,500円
(以後30分毎に500円)

お申込は 76-3629又は会員へ

旧谷小学校

明治8年 開校

昭和3年 現校舍新築(築84年県下で最も古い校舎のひとつ)

平成17年3月 閉校 (130年間の卒業生 1,538名)

同窓会設立 卒業生・在学生、教職員(特別会員)で構成

当初は毎年、現在は隔年で総会を開催

閉校後、校舎の活用について検討を重ねる

平成21年度 国交省の事業により改修工事着工

平成22年4月 交流拠点施設

谷笑楽校

として開校

地域おこし協力隊 配置

谷笑楽校

笑いあふれる楽しい交流の拠点づくり

現在の利用状況

- ・ 谷間の楽校、育児サロン、各種イベント等の開催
- ・ 卒業生の作品・地域情報の発信、展示
- ・ 卒業生、来校者、視察者、谷地区住民の交流の場

— 来校者数 22年度4,500人・23年度5,000人—